

科 目 名	SS 地学 α	理数科選択 2年次・2単位(前期)
目 標	地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則について、身近な自然現象との関連を図りながら学習する。地学的な探究活動を通して、科学的な見方や考え方を身につける。	
位 置	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する力	
づ け	と態度を身につける。地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。	

■使用する教材	■学習する単元とおおよその時期
・教科書・問題集・地学図表・自作プリント ほか	・活動する地球【4～5月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法	・移り変わる地球【6月】
各単元について地学の基礎的な内容を中心に進める。各単元について要点を整理し、本質を理解するためにノートを作成する。ノートの作成と問題演習は、主に家庭学習のなかで取り組む。	・大気と海洋【7～8月】
	・地球の環境・太陽系と宇宙【9月】

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験の基本操作を習得し、基本的な概念や原理・法則を整理し、それらを活用して自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然現象について科学的な見方・考え方でとらえ、日常生活や社会との関連を図りながら問題を見出すことができる。それらの問題に対して科学的に探究し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、科学的に探究しようとするとともに、問題や解決すべき課題を見出している。
	B 地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験の基本操作を習得している。基本的な概念や原理・法則を整理し、自然の現象を科学的に理解している。	自然現象について科学的な見方・考え方でとらえ、日常生活や社会との関連を見出すことができる。地球や地球を取り巻く環境について科学的に探究し、的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、科学的に探究しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト、小テスト、課題の提出内容	定期考査、単元テスト、小テスト、授業中の発言内容	授業や探究活動への参加態度 課題の提出状況

単元テスト	教科書	実施予定
1	第1編	第1章 地球の構造
		第2章 プレーートの運動
		第3章 地震
		第4章 火山
	第2編	第1章 地層の形成
		第2章 古生物の変遷と地球環境
2	第3編	第1章 地球の熱収支
		第2章 大気と海水の運動
	第4編	第1章 地球の環境と日本の自然環境
		第1章 太陽系と太陽
	第5編	第1章 太陽系と太陽
		第2章 宇宙の誕生